

# ~協力隊だより~ おこし TIMES 2019年3月号

手仕事、インバウンド、教育、多方面で活躍！ 新たな協力隊員も募集中！

自然にやさしい農業

荒井智恵子

【海外に向けて魅力発信！香港女子が氷見の食文化を堪能しました】

1月21日〜24日に「ABCクッキングスタジオ×クレアブレゼンツイートローカルジャパン・イン・富山」で、富山県奥西園城6市を香港のABCクッキングスタジオの生徒たちが巡るツアーが行われました。

氷見市は3日目に中央町のコミュニティスペース「ヒラク」で、地元の魚を使った料理体験とパーティがあり、私は郷土料理や地元食材を使った料理などのフードコーディネートで協力させて頂きました。

料理体験では氷見の新鮮な魚(ブリ、メジマクロ、タイ、イカ、タコ)を使ったちらし寿司を皆さんに作ってもらい、華やかなちらし寿司が完成。



お寿司屋さんの大将にもお越し頂き、ブリしゃぶ用のさばき体験も。10キロ近い大きなブリの、とても豪華なブリしゃぶが！大将自らブリしゃぶして配ってくれたり、ブリの大トロを刺身で食べさせてくれたり、みんな大喜び！大将のサービス精神に頭が上がりませんでした。ブリしゃぶの締

めは細麺の氷見うどん。香港では細麺を好まれるそう、皆さん美味しく召し上がっていらっしやいました。最後はまさかの展開で、参加者の皆さんと一緒に『エア鰯』(ブリを持ったつもりで撮った写真)で言葉の壁を超えて終始盛り上がりました。

ちなみにこのツアーは、参加者のSNS発信や、動画が海外の約40箇所のABCクッキングスタジオで流されPRされるそうです。楽しみですね！

今回で協力いただいた沢山の皆さま、この場をお借りしてお礼申し上げます。



特産品ブランド化

笠井伸一朗

【最後にお伝えしたいこと】

今回が最後の執筆となります。この3年間の任期において考えてきたことを、最後に書き記したいと思います。

我が氷見市だけでなく、日本全国どの地域でも「町おこし」をやっています。そして、簡単に思い浮かぶような町おこし策は、どこでも同じような思いつきの事業を実施しているのです、すぐに激しい競争になってしまいます。加えて、日本自体が人口減少社会に入っているのです、その競争は激しくなる一方でしょう。

そのため、ちょっとやそつとこのことをやっているでも、氷見のことを知ってもらえないし、移住してくる人も簡単に来てくれるものではないと思います。

であれば、最初から「海外」を狙ってみるのはどうでしょうか？ 観光は引き続きグローバルな成長が予測されていて、世界的に「パイ」自体が成長していくという期待ができます。輸出もそうでしょう。参入することは簡単ではありませんが、国内で減少していく「パイ」を取り合うよりも良いと思います。そこで、氷見市で「世界で戦っていける人」を育てたい、更に協力隊活動の集大成を結果



したいと思い、昨年柳田にて英語塾を立ち上げました。ただ英語を普通に教えるのではなく、将来も役立つであろう術(すべ)も体得できるように工夫しています。例えば、「時間的に圧迫された状況で考えさせる」「(自信がなくても)自信があるかのように話をさせる」「なぜ？なぜ？なぜ？↓なぜ？と考えさせる」などのトレーニングです。

今、英語教育の委託を受けている宮田地区の学童でも、厳しいかもしれませんが

同じ考え方で教えています。でも、こういう教え方を通して、ドイツ文化で育ってきた他国の人々と渡り合える、氷見市の人材育成の一端を担っていくことができれば幸いです。これを協力隊期間を通して作ってきたビジネスとして、これからも継続していきたいと思えます。3年間、ありがとうございました。

WEB販売・商品企画 北村知佳

「畑で育てて、使えるモノに変えていく」2年9ヶ月とその後

氷見市の地域おこし協力隊になって、はやくも2年9ヶ月の任期が終わろうとしています。豊かな食文化が残る氷見ですが、食以外の魅力も作り出せたらいいな...という想いととも、「畑で育てて、使えるモノに変えていく」という目標を掲げ、綿花栽培を中心に活動してきました。

慣れない畑仕事に手こずり、なかなか思うように行かない事も多かった。そんな状態でしたが、糸加工の道具を譲っていただいたり、収穫した綿花を譲っていただいたり、虫対策の方法を教えてくださいました。畑も市内3箇所でお借りでき、土質の違いや品種の違いによる生育の違いについても知ることができ、とても貴重な経験をさせていただきました。



栽培から加工までのすべてを行うには任期はとても短く、栽培は2シーズンのみとなりましたが、これからもそれぞれの工程を深めていきたいと思えます。

今後の楽しみとしては、氷見で作られていた野良着の資料が残っていたので、まずはその再現から。ミニチュア版を作ってみました。何か足りないようで、残念ながらもまだ完成には至っておりません。かつては縫い針の生産も国内3位以内に入るほどだったというお話を最近お聞きし、氷見が持つ歴史の深さにも興味津々です。氷見のモノづくりに関する歴史についてももっと知り、氷見らしいモノづくりに結びつけていきたいと思えます。氷見の野良着に関する情報をお持ちの方がおられましたら、ぜひお知らせください。

綿花栽培の様子については、  
<https://www.facebook.com/watasewa/>  
でご覧いただけます。



地域おこし協力隊 氷見市 地域振興課 第4期生募集中!

氷見市では、平成31年4月から活動を始める氷見市地域おこし協力隊第4期生を募集しています。

今年度は、「地域6次産業推進員(十二町)」、「八代地域づくり支援員」、「女良地域づくり

支援員」のように、地域に入って地域づくりを推進する隊員の他に、「総合スポーツ推進員」、「林業6次産業化・木育推進コーディネーター」、「稲積梅振興コーディネーター」、「ローカルベンチャー推進員」という職種について、各1名ずつ合計7名の募集を行っています。

現在は募集選考を行っているところですが、一人でも多くの隊員に氷見市へ来てもらい、氷見市の素晴らしい未来に向けて市民の皆様とともに活躍していただきたいと考えています。

地域おこし協力隊は、3大都市圏などの都市部から氷見市に移住していただき、最長3年間の任期で様々な地域おこし活動を行う地域活性化を図りながら、任期の終了後も起業・就業等を通して氷見市に継続して定住してもらうことを目的としています。

富山県氷見市 地域おこし協力隊

氷見市で新たなチャレンジを行う 新隊員を 7名募集!

募集期間 H31 1/18(金) ~ 2/15(金)

募集人数 H31年4月から活動する 地域おこし協力隊員 7名 ※詳しくは募集要項をご覧ください。

氷見市はここ!

富山県 氷見市 地域おこし協力隊 募集要項

募集要項: 1. 募集目的、2. 募集職種、3. 募集人数、4. 募集期間、5. 応募資格、6. 応募方法、7. 採用試験、8. 研修、9. 給与、10. 就業先、11. その他

募集要項ダウンロード: <https://www.facebook.com/nimikoshi/>

最新情報、イベントのお申し込み方法などは、「氷見市地域おこし協力隊 Facebook ページ」をご覧ください。  
<https://www.facebook.com/nimikoshi/>

【発行者】 氷見市地域おこし協力隊  
【住 所】 氷見市鞍川 1060 番地  
氷見市地域振興課  
【電 話】 0766-74-8013

今回の協力隊だより、いかがでしたでしょうか?平成 28 年度に委嘱された二期生は今回が最後の記事となります。任期中の出会い、発見、試行錯誤を通じて、各人の知識・経験を活かせる活動にたどり着きました。今年度もあと1月、引き続きご支援よろしくお願いたします。  
協力隊編集部 平田

編集後記